

2年 <つかむ> 1 / 4


(1) 本時のねらい

「三まいのおふだ」の読み聞かせを聞いたり、楽しく音読したりすることで、登場人物の行動に着目しながら昔話の面白さに気付き、想像を広げることができる。

(2) 準備

教科書の挿絵の拡大 昔話の本
(必要に応じて、教材文のCD CDプレーヤー)

(3) 展開

学習活動 予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童への支援 ◇評価)
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <p>「三まいのおふだ」の読み聞かせを聞いて、面白いと思ったところを発表しよう</p>	5	<ul style="list-style-type: none"> 読み聞かせ後に、面白いところを発表し合うことを事前に知らせておくことで、視点をもった聞き方ができるようにする。
<p>2 教材文「三まいのおふだ」の読み聞かせを聞いて、面白いところを発表し合う。</p> <p>こぞうがおふだに、「だいぶにげのびるまで、まだだあって、いってけれ。」と頼んで、逃げたところです。</p> <p>やまんばがおふだの声にだまされていて、面白いなと思いました。</p> <p>こぞうが、「大川、出る。」とお札を投げたところです。</p> <p>やまんばが、ごびごびと水をのみのみ、わしわしと川を渡る場面を想像すると面白いからです。</p> <p>こぞうが、最後のお札を出して、「すな山、出る。」と後ろへ投げたところです。</p> <p>おしょうが、やまんばを飲み下したところです。</p> <p>おしょうが、豆つぶになったやまんばを食べちゃうなんてびっくりしました。</p> <div style="text-align: center;">  </div>	30	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の挿絵を拡大掲示し、人物の行動や場面の様子についての想像がふくらむようにする。 読み聞かせを途中で止め、掲示してある教科書の挿絵と対応させながら聞かせることで、場面ごとの面白さに気付き、場面の様子や登場人物の行動について、想像を広げながら聞くことができるようにする。 一人一人の発表を大切に扱うことで、発表しやすい雰囲気作りに努める。 ◎発表の際には、教科書に載っている話形「一が、一 するところですよ。」を基本として示すことで、発表しやすくする。 どの叙述から面白さを感じたのか、叙述からどのような想像をしたのかなど、叙述を根拠に発表させることで、全員の児童が複数回本文を読む場面を確保する。 発表を受けて、教材文を音読することで友達の意見に共感し、想像をさらに広げられるようにする。 ◇登場人物の行動に着目しながら、面白い理由を表現している。(発言)【読む】
<p>3 単元の課題をつかむ。</p> <p>いろいろな昔話を読んでみたいな。</p> <p>5年生に読み聞かせをしてもらったように、わたしも昔話を誰かに読んであげたいな。</p> <p style="background-color: yellow; border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;">お気に入りの昔話を1年生に音読発表しよう</p> <p>図書室にコーナーがあるよ。見付けに行こう。</p> <p>「花咲かじいさん」を読んでみたいな。</p>	10	<ul style="list-style-type: none"> お気に入りの昔話や神話・伝承を1年生に伝える言語活動を設定することで、意欲をもって読み取り、想像を広げて読むことができるようにする。 図書室や教室前廊下などに昔話や神話・伝承の本を集めた図書コーナーを設置し、いつでも手にとって見られるようにしておく。

2年 <追究する> 2 / 4

(1) 本時のねらい

1年生に伝える昔話を選び、グループの友達と交流しながら音読の工夫を考えることで、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むことができる。

(2) 準備

昔話の本コーナー

1年生の教科書（光村図書1年上 P33）の拡大カラーコピー

1年生の教科書（光村図書1年上 P33）のカラーコピー（グループ数）

(3) 展開

学習活動 予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童への支援 ◇評価)
<p>1 本時の学習のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">1年生に伝えたい昔話を選ぼう</div>	3	<ul style="list-style-type: none"> 5年生に音読発表してもらったことを想起させることで、活動の見通しをもち意欲を高められるようにする。
<p>2 1年生に伝えたい昔話を選ぶ。</p> <div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 10px;"> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 250px;">「ここほれ、わんわん」の場面が好きだから、「花さかじいさん」にしよう。</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 250px;">「三年ねたろう」がいいな。村の子どもたちにはやし立てられてもずっと寝ているところがおもしろいよ。</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 250px;">「かちかち山」にしよう。「昔話の本コーナー」に紙芝居があったよ。1年生は紙芝居が大好きだから、発表で使えるよ。</div> </div> </div>	15	<ul style="list-style-type: none"> 相手意識を明確にするため、1年生に伝える昔話は、1年生の教科書に掲載されている昔話の中から選ぶこととする。 1年生の教科書の挿絵から知っている昔話を発表し合うことで、話の内容を共有できるようにするとともに、音読発表したい昔話を選びやすくする。 各自が選んだ理由をグループ内で紹介し合う際は、根拠を基に話させるようにし、グループで一作品を選ぶ際の視点にさせる。 1年生の教科書に掲載されている昔話を集めた「昔話の本コーナー」から気になる本を持ち寄り、グループのみんなで見ながら選べるようにする。
<p>3 グループごとに、伝える工夫を考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>「花さかじいさん」</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">枯れ木に花をさかせるところで、本当に花を咲かせたいね。</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">枯れ木を描いておいて、そこに花を貼り付ければいいよ。</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">花吹雪もいいかな。</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">おじいさんとポチをペープサートにして動かそう。</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">大判小判も作ろうよ。</div> </div>	10	<ul style="list-style-type: none"> 音読を中心として、劇や動作、役割読みを取り入れてもよいことを伝え、発表の見通しをもてるようにする。 ◎簡単にできる工夫を紹介したり、一緒に考えたりすることで、伝える工夫を選べるようにする。 劇や動作、役割読みを取り入れることで、登場人物の行動や場面の様子を想像しやすくなるようにする。 選択した話によっては、昔話の全てではなく、話の中心場面を抜粋したり、部分的に削除したりしてもよいことを伝え、特徴的な場面を選べるようにする。

「三年ねたろう」

村の子どもたちにはやし立てられてもずっと寝ている場面の面白さを伝えたいな。

劇にすると伝わるかな。

はやし立てている場面は、どんなふうに演じるといいかな。



「かちかちやま」

紙芝居が「昔話の本コーナー」にあったよ。

紙芝居を見せながら読むと、1年生が場面の様子を思い浮かべながら聞いてくれるよ。

長いと1年生が飽きちゃうから、最初の部分は読まないことにしよう。

最初の部分は、どんなお話か紹介しよう。



4 音読を工夫しながら、発表の練習をする。

すらすら読めるようになってきたよ。

歌の部分は、みんなで一緒に読もう。

読んでいる人の顔が見える方がいいから、紙芝居をめくると読む人を別の人にしよう。

・話の抜粋や削除については、グループごとに適宜支援する。

◇自分なりの音読の工夫を考え、伝えている。(発言)【読む】

・グループごとに一斉読みをし、全員で内容の確認ができるようにさせる。

・句読点読み、句点読みなど、友達と一緒に音読することで、すらすら読めるようにする。

・1年生に伝わるような音読を友達と交流しながら考えることで、登場人物の行動や場面の様子を想像しながら読めるようにする。

・音読のポイントとなるところは教師と一緒に読むことで、語や言葉の響きに気を付けて音読練習ができるようにする。

・劇で使う小物等を休み時間や家庭で準備してもよいことを伝えておく。

2年 <追究する> 3 / 4


(1) 本時のねらい

他のグループとの交流を行い、アドバイスをし合うことで、場面の様子や登場人物の行動を伝える音読の工夫をすることができる。

(2) 準備

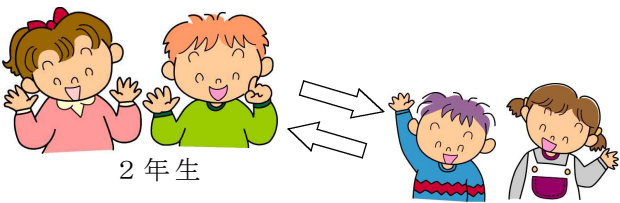
発表の手順

(3) 展開

学習活動 予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童への支援 ◇評価)
<p>1 本時の学習のめあてをつかむ。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">選んだ昔話のよさが1年生に伝わるように工夫しよう</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> 1年生に分かりやすく伝えるにはどうすればよいかを問い掛け、登場人物の様子や物語の面白さを伝える工夫を意識できるようにする。
<p>2 グループごとに音読の工夫を確認し合う。</p> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">優しいおじいさんだから、優しい感じの声で読もう。</p> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">「枯れ木に花を咲かせましょう」の台詞は、おじいさんのポチへの思いが伝わるように、ていねいに言おう。</p> 	5	<ul style="list-style-type: none"> 伝える音読に簡単な劇を取り入れることで、登場人物や場面の様子を想像することができるようにする。 ◎音読のポイントとなる場所は教師と一緒に読むことで、語や言葉の響きに気を付けて音読の練習をできるようにする。
<p>3 他グループの友達と交流し、アドバイスし合う。</p> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">歌を入れているのが面白いね。ぼくたちのグループも歌を入れたいよ。</p> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">おじいさんがポチの灰をまいて花を咲かせるところが心に残った。ポチが死んでしまって悲しいけど、きれいな花が咲いてうれしいおじいさんの気持ちが伝わってきたよ。</p> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">動きを入れているので、おじいさんの行動がよく分かったよ。恥ずかしがらずに動きを大きくするととってもいいよ。</p> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">大きな声ですらすらと読めると、お話の中身が伝わるよ。</p>	35	<ul style="list-style-type: none"> 発表時間は5分、交流は2分以内と示すことで、発表リハーサルとかねさせる。また、発表の流れを事前に示し、当日の発表にも自信をもって、自主的に臨めるようにする。 全体の場での発表場面を設定し、交流させることで、よさや改善点を共有し合えるようにする。 1年生に登場人物の行動や場面の様子が伝わるように音読できているかという視点を示し、互いにアドバイスし合えるようにする。 各グループのよかった点を発表し合わせた後、「さらによくするためには」という視点を追加して与えることで、よりよい発表とするためのアドバイスが相互にできるよう、支援する。 教師は、各グループに具体的に助言をするとともに、評価を行う。 <p>◇劇や動作を取り入れながら、音読を工夫している。(音読)【読む】</p>
<p>4 1年生への発表に向けて、見通しをもつ。</p> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">おじいさんの悲しい気持ちや嬉しい気持ちが伝わってよかった。1年生への発表も心を込めて言おう。</p> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">おじいさんの行動を1年生に分かってもらえるように、動きをしっかり入れよう。</p>	2	<ul style="list-style-type: none"> 友達のアドバイスをもとに、自分たちの発表について振り返るよう伝え、客観的に発表を振り返り、本番に生かすことができるようにする。

2年 <まとめ> 4 / 4

- (1) **本時のねらい**
登場人物の行動や場面の面白さが伝わるように、1年生に音読発表することができる。
- (2) **準備**
選んだ本 発表に必要な資料 CD「にんげんっていいな」 CDプレーヤー
ワークシート 発表会の流れカード
- (3) **展開**

学習活動 予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童への支援 ◇評価)
<p>1 本時の学習のめあてをつかむ</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 10px 0;">お気に入りの昔話を1年生に音読で発表しよう</div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 10px 0;">1年生に分かるように、ゆっくり読もう。</div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 10px 0;">1年生が楽しみにしてくれていてうれしいな。がんばろう。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0; background-color: #ffffcc;"> <p style="text-align: center;">パビリオン形式</p> <p>発表者の2年生はいくつかのブースに分かれ、同時進行で発表を行っていく。 聞き手である1年生は、グループごとに順番にブースを回り、発表を聞く。 → (P 7 会場図参照)</p> </div>	5	<ul style="list-style-type: none"> ・導入部は1年生担任(1担)とTTで行う。2年生担任は、2年生の指導・支援を行いながら、中心となって授業を進める。 ・2年生には、お気に入りの昔話の内容を1年生に発表することで、読みの学習のまとめとすることをおさえておく。 ・音読発表・感想交流をパビリオン形式で行う。音読発表会の流れをあらかじめ1年生担任と共有し、児童にも知らせておく。 (1担)：2年生のグループ数に合わせて、グループ分けをしておく。 ・発表への意欲をもたせ、めあてをつかませる。 (1担)：1年生にめあて「2年生の発表を聞いて、感想を発表しよう」をつかませる。
<p>2 発表をし、感想交流をする</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  <p>2年生</p> <p>1年生</p> <p><発表の流れ></p> </div> <div style="border: 1px solid green; padding: 10px; margin: 10px 0; background-color: #e0ffe0;"> <p>※音楽を合図に迎えに行く。</p> <p>①音読発表 「これから、〇〇の音読発表を始めます」</p> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0;">大きな声でゆっくり読もう。</div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0;">面白いところが伝わるといいな。</div> </div>	35	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を合図に移動を行う際、2年生が1年生をつれて、グループの発表場所に移動するようにし、相手意識を高める。 (1担)：1年生が落ち着いて聞くことができるように、全体を見回り必要に応じて声掛けを行う。 ◎音読に苦手意識がある児童のいるグループについては、事前に発表の役割等を把握し、支援する。 ・感想交流では、1年生の感想を聞いたり、補足説明を行ったりすることで、昔話のよさを再確認したり、さらに読みを深めたりできるようにする。 ・「おはなしにつき」を書く1年生の手伝いをする場を設定することで、音読で伝えたかった昔話のよさを再確認したり、感じ方の違いに気付いたり、読みを深めたりできるようにする。

<p>②感想交流 「〇〇のお話を聞いて、どんなことを思いましたか。」</p> <p>お話は分かったかな。</p> <p>③「おはなしにつき」の記入を手伝う 「1年生は『おはなしにつき』を書いてください」</p> <p>※音楽を合図に1年生を移動させる。 ・迎えが来るまで待たせておく。 ・次のグループを迎えに行く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちで工夫しながら、音読発表ができたことを賞賛し、個々の自信につなげさせる。 音楽が鳴ったら、次の1年生のグループを迎えに行き、発表を行う。 一グループ7～10分程度の発表とし、2～3回の発表を行う。 <p>◇登場人物の行動や場面の様子を劇や動作、役割読み等で表しながら音読している。 (音読発表)【読む】</p>
<p>3 単元のまとめをする</p> <p>1年生が楽しみながら聞いてくれて良かった。</p> <p>もっといろいろな昔話を読みたいな。</p>	<p>5</p> <ul style="list-style-type: none"> まとめは、2年生だけで行う。 単元の学習を振り返り、ワークシートに感じたことや考えたことを記述することで、学習の成果を実感できるようにする。 後日、1年生からの手紙に返事を書く活動を設定することで、昔話の音読発表を1年生に音読発表したことへの達成感をもてるようにする。

会場図：図書室（実践例）

